

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 株式会社ヒガシマル 上場取引所 福
 コード番号 2058 URL <http://www.k-higashimaru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 紘一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 木通 昌生 (TEL) 099-273-3859
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	6,642	△10.5	362	63.8	404	164.5	327	—
24年3月期第3四半期	7,424	1.9	221	△35.2	153	△45.4	13	△85.1

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 474百万円(334.3%) 24年3月期第3四半期 109百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第3四半期	69	59	—	—
24年3月期第3四半期	2	80	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	11,586	—	4,910	—	42.4	—
24年3月期	8,422	—	4,473	—	53.1	—

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 4,910百万円 24年3月期 4,473百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00	—
25年3月期	—	0.00	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	8,541	△1.7	262	333.1	268	—	249	68.0	52	99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) コスモ食品株式会社、除外 1社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更として第1四半期連結会計期間から法人税法の改正に伴う減価償却の方法を変更しております。詳細は、[添付資料] 3ページ、「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	4,746,000株	24年3月期	4,746,000株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	40,889株	24年3月期	40,842株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	4,705,144株	24年3月期3Q	4,705,158株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料] 3ページ、「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要やエコカー補助金等の政策効果により、一部緩やかな景気回復の動きが見られましたが、欧州債務問題、新興諸国の減速、長期化する円高及びデフレ化等の影響は根強く、年末、政権交代による大型景気対策への期待感の高まりを見せるものの、景気の先行きは依然として不透明な状況であります。

このような状況のなか、当社グループは市場動向を見極めながら、顧客ニーズを捉えた新商品の開発及び販売活動を積極的に展開するとともに、生産性向上及び経費削減等に努めてまいりました。一方、不採算続きであった海外子会社HIGASHIMARU VIETNAM CO., LTDの清算を進め、また、平成24年7月31日にコスモ食品株式会社の子会社化によりグループ経営の効率化及びシナジー創出で、将来の更なる成長と企業価値向上を目指して、積極的に取り組んでまいりました。

なお、コスモ食品株式会社及びその子会社につきましては、第2四半期連結会計期間末（平成24年9月30日）を支配獲得日とみなして処理していることに伴い、同社の業績は、当第3四半期連結会計期間から連結業績に含めております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は66億42百万円と前年同四半期と比べ7億81百万円（10.5%）の減収、営業利益は3億62百万円と前年同四半期と比べ1億41百万円（63.8%）の増益、経常利益は4億4百万円と前年同四半期と比べ2億51百万円（164.5%）の増益、四半期純利益は3億27百万円と前年同四半期と比べ3億14百万円の増益となりました。

なお、養魚用配合飼料の需要は、養殖魚の成長過程に応じ、摂餌が旺盛になる夏から初冬までが多く、水温が低下し餌食いが鈍くなる冬から春は少なくなるという季節的変動があります。したがって、当第3四半期連結会計期間の売上高及び売上原価は、第1四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間と比べ高くなる傾向にあります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①水産事業

水産事業におきましては、当社が主原料とする輸入魚粉のマーケットは魚粉量減少に加え、中国をはじめとする新興国の需要増を背景に価格は高止まりで推移しており、また、国内の魚価低迷が続き養殖経営を取り巻く環境は大変厳しい状況が続いております。

このような環境の下、マダイ飼料類及びヒラメ飼料類の販売は増加しましたが、クルマエビ飼料類及びハマチ飼料類が他社価格競争等により、大口取引及び受託製造販売が減少しました。

その結果、売上高は51億8百万円と前年同四半期と比べ10億41百万円（16.9%）の減収となりましたが、セグメント利益は4億8百万円と前年同四半期と比べ2億16百万円（112.9%）の増益となりました。

②食品事業

食品事業におきましては、消費者の節約志向及び低価格志向の高まりから、プライベートブランドの台頭により、対抗措置として各メーカーの低価格競争が激化しており厳しい状況が続いております。

このような環境の下、新商品の開発にも力を注ぎ、即席めん類は「ラー麺サラダ」、皿うどん類は手軽にできる料理提案型商品「海鮮皿うどん」、「もやしと豚肉あんかけ揚げめん」及び「かに玉風あんかけ揚げめん」等を発売してまいりました。営業活動の結果、そば類及びそうめん類は増加しましたが、復興需要の反動減や大手食品会社の商品力及び価格攻勢等の影響から、即席めん類及び皿うどん類は減少しました。

一方、コスモ食品株式会社及びその子会社の業績が、当第3四半期連結会計期間から当社グループの業績に含まれたことにより、売上高は15億34百万円と前年同四半期と比べ2億60百万円（20.4%）の増収となり、セグメント利益は1億43百万円と前年同四半期と比べ40百万円（39.4%）の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ31億64百万円増加し、115億86百万円となりました。これは、主として現金及び預金が7億55百万円、受取手形及び売掛金が12億25百万円、有形固定資産が3億94百万円増加したことに加え、コスモ食品株式会社を子会社化（株式取得）したことにより、のれんが4億69百万円計上されたことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ27億27百万円増加し、66億75百万円となりました。これは、主として買掛金が6億75百万円増加したほか、コスモ食品株式会社の子会社化（株式取得）に要した資金調達の関係から、短期借入金が14億52百万円、長期借入金が10億89百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ4億36百万円増加し、49億10百万円となりました。これは、主として利益剰余金が2億89百万円、繰延ヘッジ損益が1億45百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、当社グループの事業に係るリスクの発生、運営上の重要な契約等の締結、その他当社グループの将来の業績に影響を与える可能性のある事象が発生した場合は、業績予想を見直す可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、コスモ食品株式会社の発行済株式の全てを取得したことに伴い子会社となったため、連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を第2四半期会計期間末としているため、当第3四半期連結会計期間から損益計算書を連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間から、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、この変更による影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,240,330	1,996,151
受取手形及び売掛金	1,301,720	2,527,379
有価証券	—	69,270
商品及び製品	354,830	408,623
仕掛品	69,089	78,073
原材料及び貯蔵品	744,884	888,468
その他	325,299	340,794
貸倒引当金	△16,137	△15,816
流動資産合計	4,020,018	6,292,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,127,582	1,247,775
機械装置及び運搬具（純額）	629,930	681,055
土地	1,763,746	1,968,436
その他（純額）	57,924	75,979
有形固定資産合計	3,579,184	3,973,246
無形固定資産		
のれん	—	469,506
その他	39,208	36,375
無形固定資産合計	39,208	505,882
投資その他の資産		
投資その他の資産	827,571	856,695
貸倒引当金	△43,813	△42,563
投資その他の資産合計	783,757	814,131
固定資産合計	4,402,149	5,293,260
資産合計	8,422,167	11,586,205

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	344,810	1,019,904
短期借入金	1,304,000	2,756,060
未払法人税等	40,176	9,237
賞与引当金	71,518	44,662
事業整理損失引当金	142,934	—
その他	522,082	355,162
流動負債合計	2,425,522	4,185,026
固定負債		
長期借入金	782,000	1,871,500
退職給付引当金	39,920	42,376
役員退職慰労引当金	446,416	380,839
その他	254,491	195,802
固定負債合計	1,522,827	2,490,518
負債合計	3,948,349	6,675,544
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	3,579,656	3,869,467
自己株式	△28,938	△28,968
株主資本合計	4,613,017	4,902,799
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,654	11,104
繰延ヘッジ損益	△175,212	△29,321
為替換算調整勘定	18,358	26,078
その他の包括利益累計額合計	△139,199	7,861
純資産合計	4,473,817	4,910,660
負債純資産合計	8,422,167	11,586,205

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	7,424,630	6,642,850
売上原価	6,310,689	5,297,065
売上総利益	1,113,940	1,345,784
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	323,138	300,487
貸倒引当金繰入額	3,156	—
給料及び賞与	197,103	253,474
賞与引当金繰入額	△6,827	16,670
役員退職慰労引当金繰入額	7,341	7,173
その他	368,477	405,129
販売費及び一般管理費合計	892,389	982,933
営業利益	221,550	362,851
営業外収益		
受取利息	412	244
受取配当金	3,965	3,232
為替差益	—	2,844
受取保険金	2,632	35,377
役員退職慰労引当金戻入額	40,943	—
雑収入	18,477	35,127
営業外収益合計	66,431	76,826
営業外費用		
支払利息	17,062	21,223
為替差損	113,795	—
雑損失	4,029	13,492
営業外費用合計	134,888	34,716
経常利益	153,093	404,960
特別利益		
投資有価証券売却益	6,634	—
補助金収入	9,428	—
特別利益合計	16,063	—
特別損失		
固定資産除却損	1,101	—
投資有価証券売却損	32	—
特別損失合計	1,134	—
税金等調整前四半期純利益	168,022	404,960
法人税、住民税及び事業税	141,470	22,480
法人税等調整額	13,399	55,027
法人税等合計	154,869	77,507
少数株主損益調整前四半期純利益	13,153	327,453
四半期純利益	13,153	327,453

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,153	327,453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,100	△6,550
繰延ヘッジ損益	28,665	145,891
為替換算調整勘定	68,530	7,720
その他の包括利益合計	96,095	147,061
四半期包括利益	109,248	474,514
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	109,248	474,514
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,150,221	1,274,408	7,424,630	—	7,424,630
セグメント利益	192,088	103,210	295,299	△142,205	153,093

(注) 1 セグメント利益の調整額△142,205千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費120,232千円、営業外収益35,869千円、営業外費用57,842千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	5,108,386	1,534,464	6,642,850	—	6,642,850
セグメント利益	408,947	143,885	552,832	△147,872	404,960

(注) 1 セグメント利益の調整額△147,872千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費160,575千円、営業外収益32,236千円、営業外費用19,533千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間にコスモ食品株式会社を連結子会社としたことを主因として、前連結会計年度の末日と比べて当第3四半期連結会計期間末の「食品事業」セグメントの資産の金額が1,819,369千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

該当事項はありません。